

にゅうようじきょういくそうだんつうしん

ひなたぼっこ



令和6年2月8日
乳幼児教育相談通信第3号
東京都立葛飾盲学校長
岩下桂郎

日頃より、本校の教育活動に御理解いただきまして、ありがとうございます。

裏面に2月以降のグループ相談、育児教室等の予定を掲載しております。また、掲載した期日以外にも個別でのアセスメントや相談(オンラインを含む)もお受けいたします。御希望の方は、事前にお問い合わせをお願いいたします。

今号では、12月に実施した第5回育児教室でテーマに取り上げた「点字」について、特に乳幼児期に必要と思われることを掲載させていただきます。お子さんに照らし合わせて、疑問に思うことなどは御来校の折に、是非お伝えください。お応えいたします。

(文責：丹羽弘子)

～「点字」を学ぶまでに大切にしたいこと～

点字とは指先で触って読み取る文字です。学齢期、見えない子供たちは、墨字(通常の文字)ではなく、点字で学習することになります。点字の字形を触って分かるための「手」の育ちと、点字を象徴記号として分かるための「認知」の育ちの二側面より、幼児期の今、大切にすべきことをお伝えさせていただきます。

〈「おや！何だろう？触ってみようかな。」の心を励ます〉

見えない子供たちにとって、触ることは、対象物が何かを理解する上で大切な行為です。しかも、触ることは見ることに比べて主体性・能動性が必要です。ですから、触る行為を支える意欲や自発の心を大事に育てたいものです。

では、「触ってみよう」「手を伸ばしてみよう」という意欲、自発を支える基盤は何でしょうか。まず、体が健康で心地良いことが挙げられます。寝不足で眠かったり、空腹だったりしたら、外界に働きかけようという気持ちなど生まれません。一緒にいる大人が「これ、結構、楽しいじゃん！」と、ワクワクしていることも、子供たちの「触ってみようかな」という意欲を高めることにつながります。触らせるものは、触っても痛くないこと、怖くないものであることが大切です。安全への安心感が手を伸ばそうとする気持ちを支えます。

〈触る経験を豊かに〉

触って楽しいことの実感を重ねる中で、子供の手は、片手の動きから両手を協応させる操作へと巧緻性が高まります。どんどん触ることで、触って分かることも増えていきます。身近な具体物の触り比べや、大小・長短・軽重などの属性の違い、○△□などの基本図形などの理解が進みます。弁別の理解の高まりが、直径1.2mmの小さな点字の点を識別する力につながります。

点字の構造を思い浮かべてください。点字は縦3点、横2点の6つの点で構成されています。垂直空間として上・中・下の3つの位置、水平方向として右・左の2つの位置の理解が必要です。両手の操作が巧みなり、弁別の力が育ってくると、子供たちは、仲間集めや、順番に並べたりすることが楽しくなります。集める・並べる操作の中で、縦横・上下などの位置の理解が進みます。このような手を使った遊びが、やがて点字の字形の6点の空間理解の土台となっていきます。

〈「言葉とともに」一緒に触る〉

私たち大人は、子供と一緒に触ることを楽しみながら、そのモノの名前、感じを表す言葉をたくさん添えてあげましょう。大人とのおしゃべりを豊かにすることも大切です。言葉を知ることが、言葉を表す文字の習得の基礎の力となります。

〈言葉を音節でとらえたり、音声と文字の関係を意識づけたり〉

言葉が豊かになってきたら、「あ」の付く言葉集め、しりとり、言葉に拍を添える「拍あそび」など、音節（一音の音）を意識させるような遊びも取り入れていきましょう。

幼稚園・保育所に通う晴眼の子供たちは、自然に目から文字の情報が入り、幼児期後半、視覚の情報を手掛かりに、興味をもって文字を覚えていきます。それに対して、見えないお子さんは、大人が触らせてあげなければ点字を知ることができません。「いろいろな言葉があって、言葉を表す音のかたまりには音節がある」という認知の高まりや「ボクの周りの人たちは『文字』という記号を使っているんだ」という文字の存在への気づきや興味がみられたら、身の回りのものに点字表記を付けて、触れさせてあげるといいと思います。この時点では決して無理強いはいしないでください。

育児教室、幼稚部行事などの予定

期日	曜日	行事名	場所	内容
2月1日	木	親子リトミック	幼稚部リズム室	御参加ありがとうございました。
2月28日	水	第6回育児教室	幼稚部リズム室	「今、私が思うこと ～小学校通常学級と盲学校で学んだ日々を振り返って～」 本校中学部3年生による座談会 担当：主幹教諭 丹羽弘子

グループ相談の予定

原則、水曜日10時45分より1時間程度の活動です。

期日	曜日	内容	場所	ひとこと
2月7日	水	避難訓練	乳幼児教育相談室	盲学校の避難訓練を見学・体験してください。
2月14日	水	体育館あそび	乳幼児教育相談室、体育館	広い空間で体を動かしてみましよう。
2月21日	水	体育館あそび	乳幼児教育相談室、体育館	広い空間で体を動かしてみましよう。



【お問い合わせ先】 東京都立葛飾盲学校

副校長：近藤 美紀 担当主幹：丹羽（にわ）弘子

tel：03-3604-6435 fax:03-3602-9096